2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　勤次郎株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4013　　URL https://www.kinjiro-e.com
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長COO　（氏名）加村　光造
問合せ先責任者　（役職名）取締役CFO兼管理本部長　（氏名）前畑　岳史　（TEL）052-485-9300

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,084	3.3	910	△22.0	911	△21.7	593	△22.6
2025年12月期第３四半期	3,955	28.2	1,166	192.7	1,164	190.0	766	185.9

（注）包括利益 2026年12月期第３四半期　609百万円（△19.8%）2025年12月期第３四半期　759百万円（ 177.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	30.05	―
2025年12月期第３四半期	39.00	―

（注）　2025年12月期第３四半期及び2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	13,516	10,715	79.3
2025年12月期	13,733	10,249	74.6

（参考）自己資本 2026年12月期第３四半期　10,715百万円　　2025年12月期　10,249百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	10.00	10.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	11.7	1,601	5.2	1,609	5.5	1,050	3.6	53.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	20,840,000株	2025年12月期	20,840,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,062,363株	2025年12月期	1,149,235株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	19,735,820株	2025年12月期３Ｑ	19,655,689株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間においても、当社グループの主力製品「Universal 勤次郎」は、働き方改革＆健康経営の取り組みでHRMを実現できるソリューションとして、引き続き高い評価を得ており、旧製品からのリプレース需要を着実に取り込みながら、堅調に推移いたしました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

クラウド事業の販売は、市場ニーズが一段と高まっていることから、リカーリングレベニューであるクラウドライセンス売上は2,825,722千円（前年同期比25.3％増）を計上し、事業全体としては3,331,135千円（前年同期比16.5％増）となりました。

また、オンプレミス事業は、市場ニーズの傾向、及びクラウドサービスへの移行を推進していることの反面として近年は縮小傾向にあり、事業全体としては675,432千円（前年同期比31.2％減）となりました。うちリカーリングレベニューである運用・保守サポート売上についても、引き続き安定した収益確保に貢献しておりますが、クラウド契約への切替えがあったこと等により、343,691千円（前年同期比14.9％減）となりました。

これらの結果、HRM事業の売上高は4,006,567千円（前年同期比4.3％増）、セグメント利益は859,360千円（前年同期比23.3％減）となりました。

また、不動産賃貸事業については、テナントからの賃料収入等により、売上高は167,990千円（前年同期比18.6％減）、セグメント利益は50,689千円（前年同期比11.9％増）となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は4,084,482千円（前年同期比3.3％増）、営業利益は910,049千円（前年同期比22.0％減）、経常利益は911,819千円（前年同期比21.7％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は593,075千円（前年同期比22.6％減）となりました。

なお、当社が提供する「Universal 勤次郎」は、日々の就業管理や給与計算等の業務効率化に加え、HRMデータ（人的資本経営/健康経営®に関わるデータ）を統合的に蓄積・分析し、現場における労務管理と経営層における人的資本経営の双方を支援する基盤として、その提供価値を高めております。さらに、蓄積された人材関連データにAI等の技術を活用することで、組織や従業員の状態をより的確に把握し、企業の意思決定や人事施策の高度化を支援するデータ活用基盤としての機能拡充にも取り組んでおります。

HRMデータの一元管理により、労働時間の可視化、長時間労働者への対応、ストレスチェックの活用など、法令対応及び健康経営実務の高度化に貢献しております。

また、クラウドライセンス契約の増加が継続したことにより、リカーリング比率（ストック型収益の構成比）は79.3％となり、前年同期の69.6％から9.7ポイント、2026年12月期中間期の76.1％からも3.2ポイント上昇しました。当社では、顧客のシステム運用負担の軽減、法令改正への迅速な対応及びサービスの継続的な機能向上を実現するため、オンプレミス型製品からクラウドサービスへの移行を戦略的に推進しております。当第３四半期連結累計期間においては、オンプレミス事業の売上が減少する一方で、クラウドライセンス売上の増加は順調に推移しており、ストック型収益を軸とした安定性の高い収益構造への転換が一段と進んでおります。こうした転換の背景には、「Universal 勤次郎」が、人的資本情報の開示義務化や健康経営への対応といった企業課題に対し、HRMデータを統合的に管理・可視化できる「HRMオールインワンソリューション」として、現場実務と経営戦略を一体で支援する独自の価値を提供している点があります。

外部環境においては、少子高齢化及び生産年齢人口の減少を背景とした人材確保の難しさに加え、継続的な賃上げ、人材育成、従業員の定着及び生産性向上への対応が、企業経営における重要な課題となっております。有価証券報告書における人的資本情報の開示義務化に伴い、「人的資本の7分野」（人材育成、多様性、健康・安全、労働慣行、従業員エンゲイジメント、流動性、コンプライアンス）への投資は、企業価値向上に直結する経営課題として、今後ますます注目されていくと見込まれます。

当社では、これら社会的要請を成長機会と捉え、「Universal 勤次郎」シリーズの機能強化と導入支援体制の充実を推進しています。当第３四半期連結会計期間においては、顔認証や非接触ICカード等の多様な打刻方法に対応し、事業所間の応援勤務における打刻収集や作業ごとの工数集計にも１台で対応する新型タイムレコーダー『NRL-3』の販売を開始いたしました。限られた人員を柔軟に配置しながら多様な働き方を適切に管理するという企業の課題に対し、現場の就業管理を支援してまいります。また、勤務間インターバル、AI離職分析、人的資本KPIのダッシュボード表示といった次世代型HRM機能の開発を進めており、企業の人的資本経営への支援をさらに強化してまいります。

今後も、「働く人の健康と幸せが企業の未来を築く」というコンセプトのもと、クラウドサービスへの移行促進、さらなる導入拡大及び収益の持続的成長を実現してまいります。

（注）健康経営®はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

セグメント別、事業区分別の売上高は、下表のとおりです。

セグメントの名称	事業区分	金額（千円）	前年同期比（%）
HRM事業	クラウド事業	3,331,135	116.5
	オンプレミス事業	675,432	68.8
	小計	4,006,567	104.3
不動産賃貸事業	―	167,990	81.4
セグメント間の内部売上高	―	△90,074	99.2
合計		4,084,482	103.3

また、HRM事業におけるリカーリングレベニューの内訳、及びHRM事業の総販売実績に対する割合は、下表のとおりです。

	売上区分	金額（千円）	割合（%）
リカーリングレベニュー	クラウドライセンス売上	2,825,722	70.5
	運用・保守サポート売上	343,691	8.6
	その他売上	9,787	0.2
合計		3,179,202	79.3

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ216,439千円減少し、13,516,979千円となりました。

そのうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ448,212千円減少し、5,582,143千円となりました。これは主に、現金及び預金360,088千円の減少、受取手形及び売掛金128,177千円の減少、棚卸資産16,046千円の減少があったほか、その他の流動資産56,967千円の増加があったこと等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ231,773千円増加し、7,934,836千円となりました。これは主に、ソフトウエア416,635千円の増加、その他の有形固定資産151,091千円の増加があったほか、ソフトウエア仮勘定266,303千円の減少、建物及び構築物83,823千円の減少があったこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ682,288千円減少し、2,801,934千円となりました。

そのうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ421,599千円減少し、1,103,749千円となりました。これは主に、未払法人税等380,203千円の減少、その他の流動負債240,661千円の減少があったほか、賞与引当金119,871千円の増加、前受収益62,493千円の増加があったこと等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ260,688千円減少し、1,698,184千円となりました。これは主に、長期借入金216,247千円の減少、その他の固定負債39,697千円の減少があったこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ465,848千円増加し、10,715,045千円となりました。これは主に、四半期純利益593,075千円の計上、自己株式67,757千円の減少があったほか、剰余金の配当198,637千円があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年２月10日の決算短信で公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,994,739	4,634,650
受取手形及び売掛金	847,071	718,893
棚卸資産	92,245	76,198
その他	96,604	153,571
貸倒引当金	△304	△1,171
流動資産合計	6,030,355	5,582,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,801,825	2,718,002
土地	2,384,084	2,384,084
その他（純額）	408,606	559,697
有形固定資産合計	5,594,517	5,661,785
無形固定資産		
ソフトウエア	1,085,466	1,502,102
ソフトウエア仮勘定	505,916	239,613
その他	8,719	8,381
無形固定資産合計	1,600,102	1,750,097
投資その他の資産		
投資有価証券	48,707	47,241
その他	461,162	477,138
貸倒引当金	△1,425	△1,425
投資その他の資産合計	508,443	522,953
固定資産合計	7,703,063	7,934,836
資産合計	13,733,419	13,516,979
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,709	68,610
１年内返済予定の長期借入金	249,996	249,996
未払法人税等	450,343	70,139
賞与引当金	4,957	124,828
前受収益	261,205	323,698
その他	507,138	266,476
流動負債合計	1,525,349	1,103,749
固定負債		
長期借入金	1,623,606	1,407,359
退職給付に係る負債	172,276	167,303
資産除去債務	47,972	48,200
その他	115,018	75,321
固定負債合計	1,958,872	1,698,184
負債合計	3,484,222	2,801,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,099,300	4,099,300
資本剰余金	4,056,450	4,056,450
利益剰余金	3,141,106	3,523,061
自己株式	△1,053,667	△985,909
株主資本合計	10,243,189	10,692,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,562	△2,566
為替換算調整勘定	7,569	24,709
その他の包括利益累計額合計	6,006	22,142
純資産合計	10,249,196	10,715,045
負債純資産合計	13,733,419	13,516,979

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,955,222	4,084,482
売上原価	1,248,571	1,576,129
売上総利益	2,706,650	2,508,352
販売費及び一般管理費	1,540,612	1,598,303
営業利益	1,166,038	910,049
営業外収益		
受取利息	2,640	18,444
受取保証料	6,092	6,092
その他	1,057	3,771
営業外収益合計	9,790	28,308
営業外費用		
支払利息	7,468	6,479
為替差損	1,775	18,361
その他	1,687	1,697
営業外費用合計	10,931	26,538
経常利益	1,164,897	911,819
税金等調整前四半期純利益	1,164,897	911,819
法人税等	398,271	318,744
四半期純利益	766,626	593,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	766,626	593,075

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	766,626	593,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	△1,004
為替換算調整勘定	△7,475	17,140
その他の包括利益合計	△7,362	16,136
四半期包括利益	759,263	609,211
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	759,263	609,211

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報の注記）

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	HRM事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,839,607	115,615	3,955,222	－	3,955,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	90,796	90,796	△90,796	－
計	3,839,607	206,412	4,046,019	△90,796	3,955,222
セグメント利益	1,120,749	45,288	1,166,038	－	1,166,038

（注）セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	HRM事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,006,567	77,915	4,084,482	－	4,084,482
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	90,074	90,074	△90,074	－
計	4,006,567	167,990	4,174,557	△90,074	4,084,482
セグメント利益	859,360	50,689	910,049	－	910,049

（注）セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	651,856千円	798,059千円